

～復興の架け橋～ 祝 新阿蘇大橋開通

祝 国道325号阿蘇大橋ルート 開通

熊本県・南阿蘇村
国土交通省 熊本復興事務所

令和三年三月七日



忘れもしない、5年前の2016年4月16日。4月14日に発生した前震の被害を確認し、南阿蘇村には大きな被害が無かったことに胸を撫で下ろしながら、ついうとうとしていた午前1時45分、体が浮き上がるような感覚で目が覚めた「地震だ」。

当時、久木野庁舎にて当直業務に就いていた私の元には様々な情報が入りそれを整理していた。もちろん電気も付かず、電話も繋がらないため携帯アプリのLINEを使ってのやり取りだ。「うさんの家が倒壊している」「地区の水道が全て止まっている」通常時ではどれも緊急に対応が必要な事件だがとても手が回らない。その中で驚くような情報が入る「阿蘇大橋がどこにも見えない」。

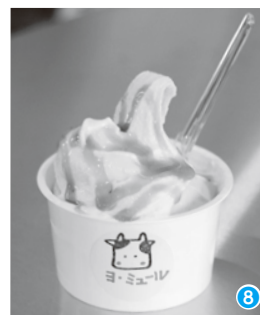
このような時は人々が興奮しているため「ガセ」の情報も多く入るものだ。もちろん、これもその一つであろうと最初は思っていた。

熊本地震本震時、当直業務に就いていた職員の話より

令和3年3月7日、熊本復興事務所の主催により国道325号阿蘇大橋ルートの開通式がおこなわれ、念願の新阿蘇大橋が開通しました。

阿蘇大橋が崩落するという「まさか」の出来事から約5年。まさか、これほど早く新しい橋が完成するとは思いませんでした。昼夜を問わない24時間体制の施工と最新の技術を駆使し工事がおこなわれた結果、通常の工期から1年4カ月程工期が短縮されたといえます。

開通式当日はコロナ禍の小雨が降る肌寒い天気ではありましたが、赤羽一嘉^{あかばしなよし}国土交通大臣(上写真前列右から三番目)をはじめ、県内外から多くの関係者に参列いただきこの記念すべき時を祝福していただきました。また、沿道では多くの地元住民の皆さまが渡り初めの車を歓迎。まさに、南阿蘇村全体が祝福に包まれた瞬間でした。



① 式典には国、県、工事関係者など約50人が出席 ② 「南阿蘇村はもとより、県全体の観光や産業の復活再生に大きな効果をもたらす」と蒲島知事の挨拶 ③ 地域住民を代表しての吉良村長の熱い謝辞 ④ 通り初めをするくまモンカー ⑤ 同日落成を迎えた新阿蘇大橋展望所(通称「ヨ・ミュール」) ⑥ 開通を祝福する地元の人々 ⑦ 式典に花を添えた「ゆるキャラ、たち ⑧ 「ヨ・ミュール」では特製のジェラートを販売

新阿蘇大橋の概要

- 延長 525m
- 総事業費 約160億円
- 工事期間 約4年4カ月(関係工事着手より)
- 橋梁形式 PC3径間連続ラーメン箱桁橋(渡河部)
- 技術工夫
 - ① 橋全体が崩落しにくい構造
 - ② 地震後の状態把握が容易
 - ③ 地震後に迅速かつ確実な復旧が可能な構造

開通までの歩み

- 2016年
 - 4月16日 熊本地震(本震)発生、阿蘇大橋崩落
 - 5月9日 道路法により国の権限代行決定
 - 5月12日 技術検討会(早期復旧に向けたルート検討)
 - 7月5日 技術検討会(架け替え位置の決定)
 - 7月29日 技術検討会(橋梁形式の決定)
 - 8月20日 地元説明会
 - 11月9日 新阿蘇大橋関連工事着手
- 2020年
 - 9月14日 渡河部上部工中央閉合
- 2021年
 - 3月7日 国道325号阿蘇大橋ルート開通